

○事業所名	士別市子ども通園センターのぞみ園		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 3 1 日 ~ 令和 7 年 2 月 1 4 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 9 名	(回答者数) 4 5 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 3 1 日 ~ 令和 7 年 2 月 1 4 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 名	(回答者数) 7 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 1 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感をもって通所を楽しみにしていること。また保護者が事業所の支援に満足していること。	子どもたちが興味のあることを取り入れ、楽しく療育に取り組めるよう工夫しています。子どもたちが「またいきたい」「たのしかった」と思ってくれることで保護者が利用しやすい事業所になると考えています。	子どもの人権を尊重し、提案と同意、合意を得ながら支援に取り組む。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていること。共感的に支援をしていること。	保護者との信頼関係を良好に保つこと。できる限り複数の職員でひとりひとりの利用者を知り、職員間で多面的に利用者のことを考えることができるよう、担当の組み換えを定期的に行うなどの工夫をしています。	子どもの状況を保護者と伝えあう際に、健康や発達の状況の内容であっても、子ども自身にその話をしてもいいか、保護者から話を聞いてもいいか確認し同意を得て話をすることで安心できる居場所となるよう配慮する。
3	子どもの活動等のスペースが十分に確保され、職員の配置数が適切であること。	機能訓練室については特に、貸し切りのスペースとならないよう、事情がない限り共有スペースとし、同室での支援ができるよう工夫している。	より適切な配置数となるよう、個別や保護者聞き取りの際は職員とのマンツーマンの対応となっただとしても、現在の合同支援で利用者3～5人に職員3～5人つくという支援を、2～3人の職員でも対応ができるよう検討したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信する。	ホームページやSNSで発信できていることがすくない。	ホームページの活用。また、事業所としてSNSが使えるようになることよい。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援が弱い。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がない。	仕事を持っている保護者がほとんどなので平日の日中に保護者向けの事業を実施しても保護者は参加することが難しい。	事業所としてSNSが使えるようになること。保護者が自分の都合のいい時間に予約の確認や欠席の連絡ができるようになるほか、ネット上で交流できる場ができると良い。
3	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がない。	保育所や幼稚園との併用をしている利用者が多いため、必要がない。	人数は少ないが保育所や幼稚園の利用がなかったり、これから利用を考えている、園の変更を考えているなどの両社に対して移行支援のために保育所や幼稚園などとの交流をすることは考えたい。